

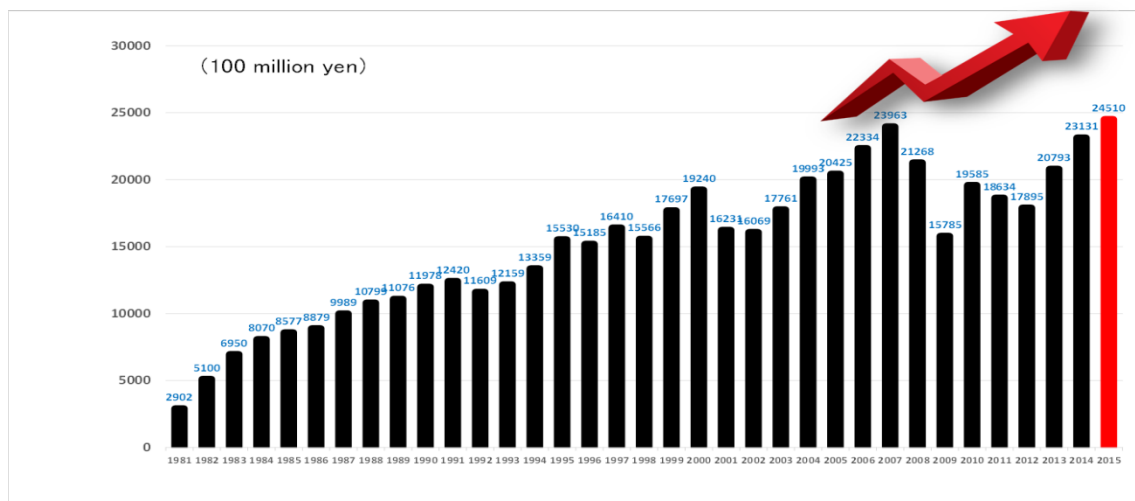
2015年10月22日

日本ファインセラミックス協会の活動と入会の御案内

－来年、設立30周年を迎えます－

日本のファインセラミックス産業は、現在、グローバル市場の4割の生産額を誇り世界トップ、続いて米国、中国が続き、2020年のグローバル市場は、11兆円（950億米ドル）市場に拡大すると見込まれています。

一般社団法人日本ファインセラミックス協会（JFCA）は、グローバル市場を睥んだファインセラミックス産業の工業会として、川上産業から川下産業まで70社の会員企業が業界の枠を超えて活動を行っています。



【入会の御案内】

来年、2016年11月、日本ファインセラミックス協会は設立30周年を迎えます。更なる「ファインセラミックス・ソリューション」の輪を広げていくため、入会される企業の皆様には、今年度に限り入会金10万円の免除を決定しました。

是非、この機会に御入会を検討頂ければ幸いです。御入会の検討に当たり御質問、御相談等があれば下記まで御連絡下さい。御説明に上がります。

○矢野友三郎 yano@jfca-net.or.jp

○佐藤 英樹 sato@jfca-net.or.jp、電話 03-3431-8271

（注）次の三機関、**工業会**（日本ファインセラミックス協会：JFCA）、**学会**（日本セラミックス協会：CSJ）及び**試験研究**（ファインセラミックスセンター：JFCC）がファインセラミックス業界を支援。

【工業会の活動】

一般社団法人日本ファインセラミックス協会の活動は、グローバル市場を睥

んで業界発展のために、①世界ルールをリードする、②市場をリードする、③材料をリードするという3本の矢で、「頼りになる工業会」を目指し、次のような事業を展開し会員企業を支援します。

(注) ☆印は、設立30周年に向けて昨年度からの新規事業を示す。

<市場をリードする>

(1) 国内外調査・情報収集

- ・毎年、「ファインセラミックス産業動向調査」を実施
 - ◆2013年の国内総生産額は2.1兆円(対前年度比18%増)、2014年は2.2兆円(7%増)の見込み。グローバル市場は約5兆円。
- ・欧米や新興国企業の動向、グローバル市場の動向調査
 - ◆「Advanced Ceramics, Global Strategic Business Report, Global Industry Analysts, Inc, March 2014」を翻訳し会員に提供
 - ◆「Ceramic Coatings Market Report, 2014」を翻訳し会員に提供
 - ☆中国、韓国の主要企業の事業報告書を翻訳し会員に提供

(2) 調査研究

- ☆水素社会に向けた「セラミックコンプレッサー調査研究」をNEDOから受託
- ☆新市場開拓のための「セラミックコーティング調査研究」を機械システム振興協会から受託

(3) 展示会・交流会

- ・毎年1月、異業種交流会として「テクノフェスタ」を開催
- ☆2016年4月、高機能素材ワールド(高機能金属展、高機能プラスチック展、高機能フィルム展)展に高機能セラミック展が開設。

(4) グリーン投資減税証明団体(NAS電池)

(5) 関係省庁への協力

- ◆経済産業省、文部科学省、厚生労働省、防衛省、内閣府等と連携
- ◆独立行政法人NEDO、JAXA、AMED等と連携
- ◆産業技術総合研究所(AIST)、物質・材料研究機構(NIMS)、国立医療品食品衛生研究所(NIH)、ファインセラミックスセンター(JFCC)等と連携

(6) ファインセラミックス関連団体連絡協議会の事務局

(7) HPによる会員向け情報提供、海外情報分析も充実

<材料をリードする>

(1) 国家研究開発プロジェクトの提案

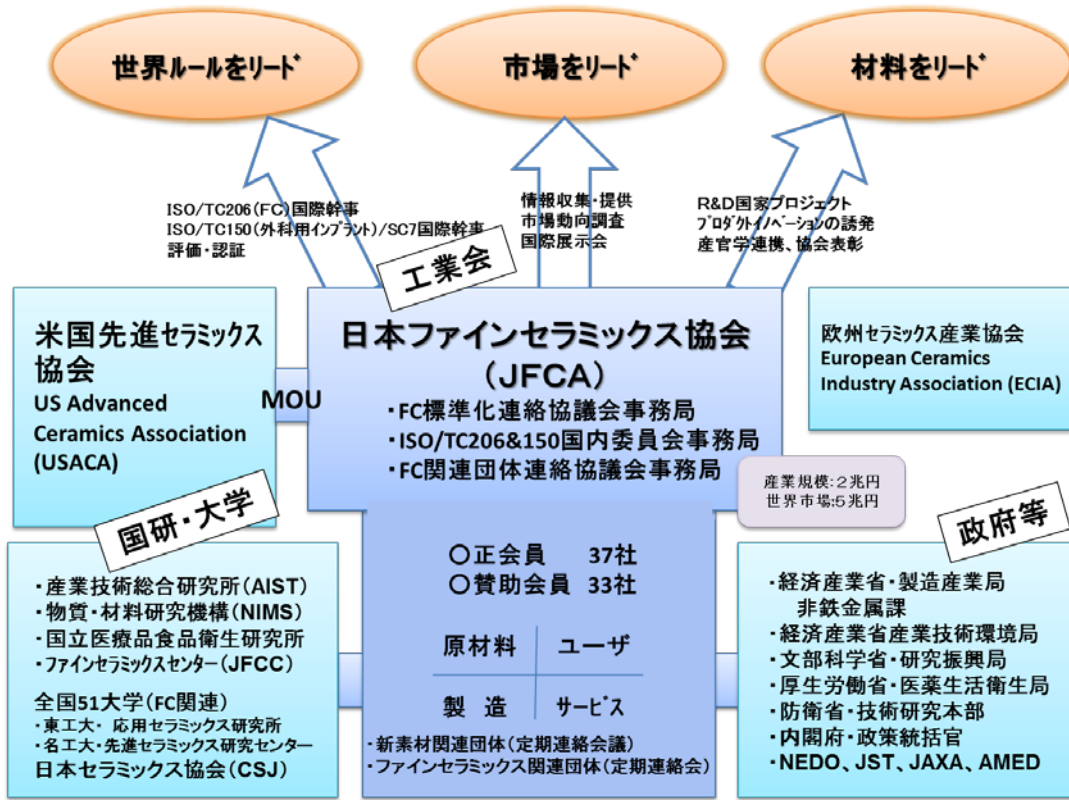
(2) 見学会(年4回)、なかなか見学できない施設の見学会

- (3) 講習会、セミナー、研究会
 - ・「イブニングセミナー（年4回）」、話題の講師やテーマで face to face セミナー
 - ☆「イノベーションセミナー（年2回）」、ユーザと会員企業との交流
 - ☆「革新製造プロセス研究会」、国立研究所との連携事業
 - ・焼結プロセスのないセラミックスのブレークスルーを目指す。
- (4) 研修会、国立研究所や大学と連携した「合宿セミナー」
 - ☆2015年2月、1泊2日の「NIMS 塾」合宿セミナーを開催
- (5) 季刊誌：FC Report の発行（年4回）
 - ・今年度は、これからのセラミックス分野を特集
- (6) 表彰制度（産業振興賞、功績賞、技術振興賞、国際賞、地域賞）
- (7) 技術相談、問い合わせ

<世界ルールをリードする>

- (1) 国際標準開発（試験評価法の物差し作り）
 - ・ISO/TC206（ファインセラミックス）の国際幹事国、国内審議団体
 - ・ISO/TC150（外科用インプラント）の国内審議団体
 - ・経済産業省、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、東北大学等から標準開発事業を受託
 - ◆2015年8月、TC206（ファインセラミックス）総会を韓国・済州島で開催。次回は、ドイツ・ベルリン
 - ◆2015年9月、TC150（外科用インプラント）総会をドイツ・ベルリンで開催。
- (2) 国際標準化推進協議会（1993年3月発足）の事務局
- (3) アジア光触媒標準化会議（CASP）の開催
 - ◆2015年8月、アジア光触媒標準化会議を韓国・済州島で開催。次回はタイ・バンコク。
- (4) 海外の関連工業会との交流
 - ☆米国 USACA（United State Advanced Ceramics Association、会長：ボーイング社）と JFCA との間で情報交流等の覚書交換。両国のセラミックスの政府予算、研究開発等について情報交換。

【日本ファインセラミックス協会活動の概要図】



JFCAの現状と展開 / 2015. 10

以 上